



2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月12日

上場会社名 株式会社 Olympicグループ 上場取引所 東
 コード番号 8289 URL <http://www.olympic-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木住野 福寿
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 木村 芳夫 TEL 042-300-7200
 四半期報告書提出予定日 2021年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	25,635	△14.2	1,039	△34.1	1,010	△33.8	623	△39.5
2021年2月期第1四半期	29,894	18.0	1,578	433.1	1,525	510.0	1,031	673.1

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 643百万円 (△36.2%) 2021年2月期第1四半期 1,007百万円 (644.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	27.16	—
2021年2月期第1四半期	44.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第1四半期	65,813	26,568	40.4	1,156.61
2021年2月期	65,082	26,410	40.6	1,149.75

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 26,568百万円 2021年2月期 26,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	—	—	20.00	20.00
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	52,900	△8.6	1,900	△40.7	1,850	△41.0	1,200	△41.2	52.24
通期	106,000	△1.6	4,100	△12.1	4,000	△12.5	2,500	△17.8	108.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期1Q	23,354,223株	2021年2月期	23,354,223株
② 期末自己株式数	2022年2月期1Q	383,449株	2021年2月期	383,449株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期1Q	22,970,774株	2021年2月期1Q	22,971,220株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年3月1日から2021年5月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の再拡大により、一部地域での再度の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の実施などが、経済活動に大きな影響を与えております。今後、ワクチン接種の進行により感染拡大に歯止めがかかるとの期待はありますが、オリンピック大会の無観客化の流れなどもあり景気の先行きは依然として予断を許さない状況です。

消費行動については、前年の同時期に見られた一部商品のパニック的な購買は影を潜め、外出自粛等に伴う巣ごもり需要も一巡するなど、全体に落ち着きを見せてはおりますが、依然として消費者の低価格・節約志向は根強く、また、業態を超えた企業間の競争が激しさを増すなど厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、当社グループ店舗等を通じた感染症拡大を防止するために細心の注意を払いながら、地域社会のライフラインを守るために、安定した商品供給に努めてまいりました。

食品分野におきましては、昨年12月に取得いたしました「スーパーマーケット フジマート」を運営している(株)優翔を当期首より連結の範囲に含め、店舗規模に応じた商品構成への転換を進めております。

ディスカウント分野におきましては、日用必需品を中心とした品揃えで、季節や地域生活のニーズに対応できる売り場づくりを進めるとともに、従来からの、チラシに頼らず毎日お求めやすい価格で商品をご提供し続けるEDLP政策を継続しております。

専門店分野におきましては、自転車専門会社の(株)サイクルオリンピック、ペット専門会社の(株)ユアペティア、DIY・ガーデニング専門会社の(株)おうちDEPO、靴専門会社の(株)シューズフォレストを中心に、自社開発商品の拡大と専門性の強化を進め業容の拡大に努めております。

また、動物病院を経営する(株)動物総合医療センターにおきましては、(株)ユアペティアとの連携を強化しながら、CT画像検査や様々な医療機器を活用した高度医療に対応する4病院目の「動物総合医療センター高井戸」

(東京都杉並区)を「Olympic高井戸店」に併設するかたちで7月に開院させております。

経費面では、グループ全体を通じて店舗運営の効率化を進め、費用対効果を検討しながら徹底した経費の節減を継続してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高に営業収入を加えた営業収益は256億35百万円(前年同四半期比14.2%減)となり、営業利益は10億39百万円(前年同四半期比34.1%減)、経常利益は10億10百万円(前年同四半期比33.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億23百万円(前年同四半期比39.5%減)となりました。

なお、当社グループは、小売事業の割合が高く、小売事業以外の事業に関しては重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億31百万円増加し、658億13百万円となりました。これは主に売掛金及び土地の増加などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億73百万円増加し、392億45百万円となりました。これは主に買掛金、短期借入金が増加したこと、未払法人税等が減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億57百万円増加し、265億68百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績につきましては、2021年4月13日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,572	4,713
受取手形及び売掛金	1,365	1,718
商品	9,608	9,897
その他	1,232	1,264
貸倒引当金	—	△0
流動資産合計	16,778	17,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,880	11,821
土地	15,093	15,413
その他(純額)	1,941	1,988
有形固定資産合計	28,915	29,223
無形固定資産	1,488	1,558
投資その他の資産		
敷金及び保証金	14,003	14,041
その他	3,896	3,395
投資その他の資産合計	17,899	17,437
固定資産合計	48,303	48,218
資産合計	65,082	65,813
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,727	9,781
短期借入金	13,527	15,923
未払法人税等	1,303	220
賞与引当金	386	677
資産除去債務	7	—
その他	4,430	3,268
流動負債合計	28,383	29,872
固定負債		
長期借入金	7,156	6,401
退職給付に係る負債	17	16
資産除去債務	617	620
その他	2,495	2,334
固定負債合計	10,287	9,373
負債合計	38,671	39,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,946	9,946
資本剰余金	9,829	9,829
利益剰余金	6,839	6,977
自己株式	△293	△293
株主資本合計	26,322	26,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88	107
その他の包括利益累計額合計	88	107
純資産合計	26,410	26,568
負債純資産合計	65,082	65,813

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
売上高	28,107	23,981
売上原価	19,060	15,388
売上総利益	9,047	8,592
営業収入	1,786	1,654
営業総利益	10,834	10,246
販売費及び一般管理費	9,256	9,207
営業利益	1,578	1,039
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	4	0
債務受入益	—	5
その他	13	24
営業外収益合計	25	37
営業外費用		
支払利息	74	62
その他	3	3
営業外費用合計	77	66
経常利益	1,525	1,010
特別損失		
固定資産除却損	24	22
特別損失合計	24	22
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	1,501	987
匿名組合損益分配額	△6	1
税金等調整前四半期純利益	1,507	986
法人税、住民税及び事業税	383	186
法人税等調整額	93	176
法人税等合計	476	362
四半期純利益	1,031	623
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,031	623

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	1,031	623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	19
その他の包括利益合計	△24	19
四半期包括利益	1,007	643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,007	643

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「小売事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。